

行政サービスの 向上を目指して

2月28日から証明書の 自動交付機が稼働開始



稼働開始を祝うテープカット



自動交付機から発行された
証明書を手にする田崎さん

できるので、便利になります」と笑顔で話していました。

証明書自動交付機は、役場住民生活課で申請を受け付けている「住基カード」(無料)に、多目的利用(自動交付機・コンビニ交付)サービス機能を付けると利用でき、1月4日から12月28日までの午前8時から午後9時まで利用可能です。さらに、証明書の交付手数料も窓口交付に比べ50円安くなります。

3月30日からは、コンビニエンス・ストア(全国のセブンイレブン13,000店舗)での交付サービスも始まり、午前6時30分から午後11時まで(1月4日から12月28日まで)、印鑑登録証明書・住民票の写しの取得が可能となり、九州では大牟田市に次ぎ2番目の取り組みとなります。

住民票の写しや印鑑登録証明書などを役場閉庁時でも取得できる「証明書自動交付機」が役場玄関横にこのほど設置され、2月28日、「稼働式」が開催されました。

住民基本台帳カードを利用した証明書自動交付機は、役場窓口の混雑緩和と行政サービスの利便性向上を目的に設置されたもので、県内では一番早い取り組みとなりました。

式では、住永町長のあいさつの後、テープカットをして、稼働を祝いました。また、町長が実際に自動交付機を操作し、自らの戸籍謄本を取得しました。

式が終ると早速、住民の皆さんが自動交付機を利用。住民票の写しを取得した田崎寛さん(辻の城団地)は「稼働開始を心待ちにしていました。これで役場が閉まっても取得

お元気な百歳3人を表彰

2月から3月にかけて、めでたく100歳を迎えた3人に対し、住永町長から町の敬老祝い金と表彰状が贈られました。表彰を受けたのは、岩村マノさん(福原)、澤田タマ子さん(平田上)、門口益平さん(惣領2町内)の3人です。



お祝いに駆けつけた家族に囲まれ幸せいっぱい岩村さん(前列右)

岩村さんは、明治44年2月25日生まれ。昨年、西原村の施設で過ごしています。「みんなが優しく、ほどうしてくれて幸せです。長生きして良かった」と素敵な笑顔で語っていました。

澤田さんは、明治44年3月5日生まれ。ご自宅で、四男の久夫さんと一緒に暮らしています。久夫さんと車椅子でお散歩を楽しむこ



春風に誘われて、外に出て記念撮影(澤田さんは前列写真中央)

ともあるという澤田さんは、表彰のお祝いに駆けつけた皆さんの話を穏やかな表情で聞いていました。

門口さんは、明治44年3月7日生まれ。今でも入れ歯はなく、自分で食事を摂ることが出来ます。結婚79年目となる奥様をいつも気に掛けているという優しいおじいちゃんでした。



長男純弘さん、三女美恵子さんとともに表彰を喜ぶ門口さん(右から2番目)